

令和3年7月定例

伊達市教育委員会 会議録

令和3年7月14日開催

令和3年7月定例伊達市教育委員会会議録

1 開催日時 令和3年7月14日（水）13時30分～

2 開催場所 伊達市役所東棟3階 庁議室

3 出席者 教育長 菅野 善昌
1番 菅野 千恵子 委員（教育長職務代理者）
2番 三品 清重郎 委員
3番 関根 勝富 委員
4番 貝羽 貴子 委員

4 欠席委員

5 説明のため出席した者
教育部長 原 好則
教育総務課長
（兼学校給食センター所長） 土田 一紀
生涯学習課長 小賀坂 義一
学校教育課長 熊澤 正人
こども部長 橘内 重康
こども未来課長 桃井 秀孝
ネウボラ推進課長 畠 香苗

6 本委員会書記
教育総務課総務企画係長 菅野 早苗
教育総務課総務企画係主事 大橋 勝

7 日程1 開会

○菅野教育長 令和3年7月定例伊達市教育委員会会議を開会します。本日は全員出席していますので会議が成立しています。また開会時刻は13時30分です。

8 日程2 会期の決定

○菅野教育長 会期決定についてお諮りします。会期は本日14日にしたいと思

います。異議ありませんか。

【委員より異議なしの声あり】

○菅野教育長 異議なしと認め、会期は本日14日と決定します

9 日程3 議事録署名委員の指名

○菅野教育長 議事録署名委員の指名に移ります。本日の議事録署名は1番菅野委員と2番三品委員にお願いします。令和3年6月定例会会議録は関根委員と貝羽委員に署名いただいていることを報告します。

10 日程4 会議の進め方

○菅野教育長 本日の会議の進め方について、土田教育総務課長から説明願います。

○土田教育総務課長 本日、議案はありませんが1点訂正の報告をいたします。先月承認された議案第28号、伊達市教育委員会事務事業点検評価委員会委員の委嘱について、5名中3名、期数を1期分多く表記していました。大変申し訳ありません。差し替えをお願いします。

1 議 事 な し

2 協 議 令和3年度第1回総合教育会議の議題について

3 報 告

- (1) 教育長から
- (2) 各教育委員から
- (3) 6月定例議会報告
- (4) その他

11 日程5 傍聴の許可

○菅野教育長 傍聴希望の方はいますか。

○菅野総務企画係長 いません。

12 日程6 議事

○菅野教育長 本日は議事がないため協議に移ります。

13 日程7 協議

○菅野教育長 総合教育会議の議題について教育総務課長から説明をお願いします。

○土田教育総務課長 資料により説明

○熊澤学校教育課長 議題の補足説明をします。ICT教育の今後の展開とコロナ禍後の教育のあり方について、現在の最重要課題と考えています。

ICT教育の目標、本市の課題、情報モラル教育について学校教育課で資料を作成しており、当日説明します。その後、意見をいただきたいです。

今後の展望についても意見をいただき、今後の方向性を具体化する方向で考えています。

○菅野教育長 ICT教育の今後の展開について、コロナ禍後の教育の在り方について、2点を議題として協議を深めたいと思います。

14 日程8 報告

○菅野教育長 報告に移ります。

令和3年度 7月定例教育委員会会議 教育長報告資料

1 1学期を終えて・・・そして今後の課題

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

- ① 感染症予防対策の徹底・・・児童生徒、教職員の健康と安全を第一に据えた対応
- ② 児童生徒を取り巻く個別のケースへの的確な対応
- ③ 12歳以上の生徒のワクチン接種と保育士・教職員等の優先接種
※ 誹謗・中傷による差別や偏見の絶無（人権教育の重視）
- ④ 児童生徒が正しい情報を収集・選択し、自らの正しい判断のもとに自らの生命と健康を守る態度の育成
- ⑤ 様々な教育活動の正常化への慎重な移行
※ 教育課程を踏まえた実施の可否、実施の範囲（活動内容・方法などから）
- ⑥ コロナ禍を言い訳にしない学校経営

(2) ICT教育の推進【学校教育課】

[I C T活用の本質的な意義]

※ 新学習指導要領・・・ 情報活用能力が、言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」に位置付けられた。

※ 情報活用能力の育成のために、I C Tを適切に活用した学習活動の充実を図る。(I C T:「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のツール)

- ① 大前提・・・ I C Tの活用は目的ではなく「手段」
- ② 様々な授業の場面での効果的な活用事例・・・お互いに学び合いたい。
 - ※ 学校訪問
 - ※ 7月2日(金):第5回伊達市教職員研修講座「I C T教育研修」
月舘学園小・中学校を会場・・・授業の提供と分科会・全体会
- ③ 校内における組織的な研修の充実

○熊澤学校教育課長 I C Tの活用は、子ども達には情報活用能力を身につけさせること、教師には授業の改善を進めていくことを目的とした手段なのだと考えています。学校訪問では積極的に I C T機器を活用する姿が見られました。ある小学校の6年生体育の授業で、バスケットボールの攻撃方法をどのように組み立てていくか課題を与えられ、タブレットにバスケットボールのコートが映し出されており、電子ペンでパスの仕方を書き、グループで見ながら、討議をする姿が見られました。タブレットをあたかも使い慣れた道具のように扱っていたため、子ども達の適応能力の高さを思い知りました。他にはアサガオの写真を毎日撮影し、記録に残す使い方もありました。

7月2日に I C T教育研修が月舘学園小中学校で行われました。1年先取りした I C T機器の活用に取り組んでいたため、市内の先生方に進んだ研究の成果を見てもらうことが出来ました。校内における組織的な研修の充実に力を入れています。まず I C T支援員による操作講習会、学校によってはプロジェクトチームを作り盛んに情報を発信する、 I C T活用授業の作り方等を各学校で行っているようです。

I C T支援員は4校に1人の割合で配置されていますが、 I C T支援員がどのような支援をしたかということでまとめた資料があり、143種類の支援がありました。スクラッチ授業支援、エラーメッセージの処理、タブレット作業練習支援、授業参観プログラム作成支援、タブレット操作支援、タブレットを使用した事業支援、メタ文字講習会、メタ文字を活用した事業支援、eライブラリ新バージョンへのログイン支援、デジタル教科書のインストール等です。様々な要望を受け、的確に対応してもらっており、タブレット導入活用が円滑に進んでいます。

2 下校中の児童5人が死傷した事故（千葉県八街市）を受けて

※ 伊達市における対応【学校教育課】

○熊澤学校教育課長 平成24年から児童生徒が安全に通学できるよう、関係機関が連携した合同点検を行っています。関係機関は、本市教育委員会、建設部土木課、福島県保原土木事務所、伊達警察署、本市立各小中学校、本市立各小中学校PTA、本市各総合支所の方に参集してもらい、例年4、5月に各学校で危険箇所を挙げ、7月下旬から8月上旬に関係者が集まり、各校の通学路を合同点検します。その後、機関で対応できることを具体的に確認していきます。千葉県の事故を受け、7月9日付で文部科学省から、さらに合同点検の緊急依頼がありました。各学区で、自動車などが頻繁にスピードを出して通る道路、過去にヒヤリハットしたような箇所、それから学校に関わる全ての方々から、可能な限り多くの情報を集め、危険箇所を再度確認するようにと指示がありました。各学校に指示をして、再度、点検を依頼しています。

○菅野教育長

3 東北六縣市町村教育委員会連合会関連・・・ 令和3年度：青森市開催

- (1) 7月15日（木）：定期総会・・・ 書面開催
- (2) 7月16日（金）：研修会・・・ 中止

4 その他

- (1) 6月教育長の部屋
- (2) 第2回伊達市各園長、小・中学校長会議資料
- (3) 学校だより、新聞報道等から
- (4) その他

○菅野教育長 何かご意見ご質問があればお願いいたします。

○菅野委員

各学校のオリンピックの観戦についての取組みや参加状況について教えてほしい。

○熊澤学校教育課長 学校ごとに直接県に申し込む形式だったため、本市教育委員会でも申し込み状況を把握するよう努めました。小学校はほぼ全ての学校で申し込み、中学校は6校中2校が申し込みをしていました。その後、状況が悪化し学校でも議論があり、5月下旬に県教育委員会から各学校に意向調査が

ありました。小学校2校は、その際に参加を取り止めました。本市教育委員会から子ども達の安全安心、保護者の理解を十分勘案し、決定するよう通知を出し、最終的に小学校2校以外は不参加となりました。小学校2校は保護者の同意、理解を得て参加する準備を進めていましたが、無観客開催が決定したため、中止となりました。

○菅野教育長 他にご意見ご質問があればお願いいたします。

○三品委員 ワクチンの効能は基本的に感染を防ぐものではなく、重症者を防ぐ観点で使用されています。

重症者は減少するが、感染は減少しない場合、ワクチン接種後の、教育委員会、学校がどの様に対応していくというガイドラインの検討は開始していますか。

○熊澤学校教育課長 ワクチン接種後は、規制が無くなるという風潮になっていますが、終息しても2、3年は新しい学校の生活様式、マスクの着用、手洗い、消毒、行動にも気をつけることを続けていかなければと考えています。

この状況を見極め、必要な場合は検討していきます。

○貝羽委員 18歳以下のワクチン接種はどのように進められ、副反応の症状が出た際の出欠管理の仕方はどのようになりますか。また夏休みは部活動や登校日もあります。対応等は決定していますか。

○熊澤学校教育課長 副反応の場合は出席停止とし、欠席とならない扱いにしています。ワクチン接種に該当する子ども達がどの程度受けるのか、教育委員会で把握が出来ていないため、時期を見ながら、接種割合を関係部署から聞き、教育委員会で検討します。

○関根委員 2人の子どもの分を今週月曜日に予約しましたが、他の保護者は様子見て予約したいと考えている人が多数います。そのため夏休み中に2回の接種を終えるためには、7月中に1回目を受けなければいけません。夏休み後も含め、接種体制を考える必要があると思います。

○原教育部長 ワクチン接種の範囲はその期間優先的に受けることができる枠を確保しているだけであり、その他の日にちでも接種可能です。学校に登校している場合などは、公欠等で対応をする予定です。

○菅野委員 私は接種した子、していない子で区別、同調圧力、いじめ等も懸念されるため、夏休み中に子ども達のワクチン接種が行われることは良かったと思っています。保護者から教育委員会、学校から接種についての悩みや相談はありますか。

○熊澤学校教育課長 現在、学校や保護者から相談はありません。

○菅野教育長 保護者に出した通知には相談、悩みがあった場合は教育委員会ではなく、新型コロナウイルス対策課の電話番号が記載されています。

他になれば次に（２）各教育委員の皆様からの報告に移ります。報告のある委員の方の発言をお願いします。

○菅野委員 学校訪問の感想ですが、私もＩＣＴ機器を使うことが目的ではなく、手段であると思います。中学校の理科の実験で顕微鏡の画像をタブレットで見ており、子ども達が感動していました。国語の授業ではタブレットを使用せず、授業を行っておりました。先生が適宜機器を取り入れ、学習を展開していく様子を見ることができた学校訪問でした。機器を道具として使用することで学習の深まりに繋がるのではと感じました。

○三品委員 タブレットを道具として使用する場合、先生より子ども達の方が、進んでいるように見受けられました。その際タブレットの使い方を先生が決める場合と子ども達が決める場合では、今後の成長に変化が出るのではと感じました。また、インターネットの利用の仕方、マナー等を学校教育の中で教えることができればと思っています。この様な情報化社会だからこそ、地域の良さも教育の中で伝えていければ良いと思っております。いかに地域独自で、地域に貢献できるような子ども達を育てるかが重要になってくると感じました。

○関根委員 それぞれの地区、学校の問題点は違っていると感じました。それぞれの特色を活かすことができればより良い方向に進むと思います。

○貝羽委員 １つの授業を見る時間が短時間だったため、15～20分にしてもらえると集中して見る事が出来ると思います。

○菅野教育長 訪問要項で重点的に見たい部分を事前に連絡してもらえると調整可能です。

ほかになれば（３）６月定例議会報告に移ります。

○原教育部長 資料により説明。

○橋内こども部長 資料により説明。

○菅野教育長 ご意見ご質問があればお願いいたします。

○三品委員 1つ目は総合地域型スポーツクラブについてです。方向性も見えてきたため、具体的に組織の規模はどのようにするのか提示するべきであると思いました。

2つ目は、認定こども園についてです。補助金が3億5500万円と記載があるが、保原認定こども園の総工費が約8億だったと記憶しています。今後子ども達が減少していく中で、残り半分の負担は大きいのではと感じました。コストを抑えることも可能なのか抑えることが不可能な場合は補助金を増やさなければ厳しいと感じます。

○小賀坂生涯学習課長 スポーツクラブ設立準備委員会は1回目を開催したばかりで、具体的に方向性は決定していません。今後協議をしながら決定していきます、定例教育委員会会議で報告します。

○橋内こども部長 国から補助金を請求する際は、面積、定員、補助率、金額が決定します。国からの補助金を緩和する事は困難です。認定こども園の事業主が面積を調整し、事業主の判断で対応してもらい、コスト縮減を図ることは検討できると思います。しかし現在までの認定こども園の設置内容を検討すると、国からの補助金に加え、病児病後児保育、支援センターなど施設を認定こども園に設置され補助金が入ります。敷地は本市で買収し、無償で貸与します。造成は国の補助対象外になるため全額負担します。その他も含め、3億5500万円となります。

○三品委員 現状、入札が順調に行えていないと聞いています。来年開園予定に間に合いますか。

○橋内こども部長 面積を縮小した内容で7月末から8月に再度仕切り直しの入札を予定しています。入札が整った場合、面積からすると、約1年間は工事がかかると思います。当初予定の開園は厳しい状況になるものと思われます。可能な限り、予定していた開園時期が遅れないようお願いをしています。

○貝羽委員 給食の残滓量について質問します。他の地区、施設と比べて量はどうか。また減少させるための対策等あれば教えてください。

○原教育部長 残滓量は水分を抜くと他の自治体給食センターと同量であると把握しています。

○土田給食センター所長 伊達学校給食センターでは堆肥を作成する装置があり出来た堆肥を、近所の方に配布をしています。

○貝羽委員 堆肥づくりに使用されているという事ですが、それは食品ロスを減らす取り組みではありません。残滓量を減らす取り組みを子ども達含め、行うと教育の一環になると思います。

○土田給食センター所長 栄養士と食育も含め、検討します。

○菅野教育長 他になれば次に（４）のその他に移ります

○小賀坂生涯学習課長 今週末に行われるオリンピックとの交流会の紹介をします。7月17日（土）午前10時から保原小学校で日本人オリンピックとの交流事業を行う予定です。本県出身で、2008年の北京オリンピック、陸上女子400メートルに出場した千葉麻美さんが市内の小学校5、6年生と交流事業を行います。内容は講演会と陸上教室です。またパラリンピックの聖火の採火に参加した児童に行ってもらうことを予定しています。

○菅野教育長 教育委員会行事報告・予定表について、教育総務課長お願いします。

○土田教育総務課長 資料により説明

○菅野教育長 次回の日程について事務局から説明願います。

○土田教育総務課長 次回の定例教育委員会会議

日時 令和3年8月18日（水）13時30分～

会場 伊達市役所本庁舎 東棟3階 庁議室

○菅野教育長 本日の7月定例教育委員会会議は、15時23分で終了します。

15 日程9 閉 会 15時23分

上記記録の正確なことを認め、ここに署名する。

令和3年7月14日

議事録署名人

1 番委員

2 番委員

議事録調製者 教育総務課総務企画係主事 大橋 勝